

北海道大学「持続可能な社会を実現する国際協働型人材育成プログラム

ム(OGGs)」に協力し、北海道総合開発について講義

2023年7月27日、北海道大学の大学院特別教育プログラム OGGs-NJE3 コースの授業「SDGs 実習:北方圏デザインスクール」を受講している日本人学生3名及びブルガリア、フィリピン、インドネシア、ヨルダンそしてスリランカからの留学生6名に国際室長から「北海道における開発政策」について講義を行いました。



NJE3コースとは、気候変動や歴史文化の多様性等、地球規模の問題が集積する北方圏を対象として、「環境評価」、「文化的多様性」、「土壌と生産」、「地域資源開発」、「防災管理」の分野横断的な重要課題を取り扱い、各研究分野がつながり合うことで得られる複合的・総合的な観点を持った地域専門家の育成を目指すコースです。

【講義の様子】 日本の統治機構と北海道総合開発計画に関する講義では、北海道の状況、北海道開発の意義や制度的な特徴などを説明しました。



講義を聞いた学生からは「2050年カーボンニュートラルに向けた対応と人口減少による今後のインフラの維持」、「政府による北海道を優遇した開発制度が他地域の不満を生まないか」、「新型コロナウイルスの流行、ウクライナ侵攻等の世界情勢による新北海道総合計画の検討への課題・影響」、「人口減少等による、居住地域の集中や自治体の統廃合等の必要性」といった質問があり、活発な意見交換が行われました。

